

天ぷら油火災を想定した原因調査訓練

松戸市消防局

松戸市消防局は、平成25年6月3日から25日までの間に、市内10消防署の調査班を対象に、天ぷら油火災を想定した火災原因調査訓練を実施しました。

この訓練は、消防署の食堂を専用住宅の台所と見立て、「住宅の1階台所から出火、関係者により初期消火実施済み」との想定で、全20回、署員延べ143人が参加し、原因調査技術の向上及び知識の習得を図りました。

参加した職員から、「調査経験が少ないなか、今後も想定訓練を重ねていかなければならない。」などの感想が寄せられました。



調査訓練の様子

小さな消防士誕生！

泉州南消防組合

平成25年7月27日、泉州南消防組合泉佐野消防署は、夏休みの開始時期に合わせて第39期泉佐野市少年消防クラブ第2回例会を実施。参加した35名のクラブ員は、救急隊指導のもと熱中症対策、三角巾を使った止血、傘や段ボールなど身近なものを使った骨折時の固定といった応急対策、人命救助等に使うロープの結び方を学び、さらに消防士の現場外套をまといタンク車からの放水、はしご車の搭乗などを体験しました。

安全で楽しい夏休みを過ごせるよう火の取り扱いや健康に注意することを約束し、例会を終了しました。



50m級はしご車の搭乗体験

消防通信 望楼 ぼうろう

高吾北広域町村事務組合消防本部新庁舎

高吾北広域町村事務組合消防本部

高吾北広域町村事務組合消防本部の新庁舎が平成25年3月末に完成、4月1日より運用を開始しました。

延べ床面積1,898.71㎡のRC造2F建て構造の新庁舎は、単に出勤機能だけを持つ消防施設ではなく、平常時には防災教育施設として活用し、火災や自然災害発生時には、広域的災害対策本部の代替施設として、さらには住民避難施設、防災資機材・物資備蓄にも対応できるように工夫された造りとなっています。この新庁舎のもと、当本部は、「我が町の安心安全」を守るべく、消防活動を行っています。



指令室

流水域(河川)での特別救助隊登録者連携訓練を実施

八代広域消防本部

平成25年7月24-25日の2日間、八代広域消防本部は、管内を流れる氷川「立神峡」において、特別救助隊登録者44名による「流水域(河川)で発生した水難救助事案での救助隊の活動及び水難救助隊等との連携」を目的とした訓練を実施しました。

管内では昨年も流水域での水難事故が発生しており、参加した隊員は、大雨による河川の増水等特殊環境下での救助では救助者自身の二次災害の危険性が高いことや他隊との連携や情報の共有など流水域での災害活動の常用なポイントを再認識する訓練となりました。



教育支援隊による訓練説明の様子

消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】